

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称 施策Ⅱ-5-1 道路網の整備と維持管理

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長 都市計画課長 石田 弘至 電話番号 0852-22-5209

事務事業の名称	街路整備事業	
目的	(1) 対象	市街地の道路利用者
	(2) 意図	安全で快適な街路整備により、都市内の移動や活動を容易にする。
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 市街地の交通円滑化や地域間交流に資する、都市の骨格となる街路整備を進める 安全で安心な歩行空間の確保のため、歩道整備を進める 中心市街地の活性化に取り組み市町のまちづくりと連携した街路整備を進める 歴史文化などの地域資源を生かした魅力あるまちづくりに資する街路整備を進める 	

2. 成果参考指標

(1) 指標名	式・定義	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
		目標値			1.40	2.20	3.00	3.70
実績値		0.50	1.10	2.20	2.20			
達成率			78.60	100.00	73.40			%
指標名	式・定義	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
		目標値		0.00	0.00			
実績値		0.00	0.00	0.00				
達成率			0.00	0.00				%

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	3,433,221	3,690,019
うち一般財源(千円)	656,580	385,368

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

・県内の幹線街路の整備率は67.6%で全国平均61.7%を若干上回っているものが、これは長期未着手路線の見直しにより計画延長が減少した結果であり、未だ整備されていない路線が多数残っている。（H25.3.31現在）
 ・国庫補助（交付金）について対前年度比でみると、H24年度は115.3%、H25年度は98.9%、H26年度は62.4%、H27年度は124.4%と変動が大きく、計画どおりの進捗が難しくなっている。
 ・交渉難航箇所の用地取得状況に進展があったが、依然一部地権者の同意が得られていないことから工事が計画通り進捗していない箇所がある。
 ・H26年度は供用延長の目標値0.8kmとしていたが、事業用地取得の遅れや十分な交付金予算が確保できなかった等の理由により実績値0.0kmとなった。
 ・H27年度目標値を達成する上で問題となるのは、用地交渉難航箇所の事業用地確保及び必要事業費の確保

6. 成果があったこと（改善されたこと）

・国の重点施策に該当する通学路特化パッケージの創設及び優先課題推進枠に該当する広域連携パッケージへの移行により交付金予算を確保（対前年度比1.24）
 ・県単用地先行取得制度を活用し、事業用地を確保（城山北公園線1件、あけぼの通り線3件）
 ・境界不明の事業用地について、裁決申請を実施（城山北公園線）
 ・債務を活用した工事発注（城山北公園線）

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

・一部地権者の同意が得られていない箇所がある

②困っている状況が発生している「原因」

・事業用地の取得について、原則、任意交渉により解決を目指している

③原因を解消するための「課題」

・土地収用法活用の判断

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

・任意交渉により目処が立たない用地補償については、土地収用法に基づき裁決申請を実施する
 ・国の施策に合致した新規街路事業を実施する

◎課（室）内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）